

# 本号の概要

- ☆市政に関する一般質問…P2～6
- ☆上程議案と議決結果……………P6

# かとり 議会だより

## 第3号

平成18年12月5日

発行 香取市議会  
編集 議会報編集特別委員会

〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127 電話 0478(50)1217

### 9月定例会

## 自治区の特別職設置条例を廃止する条例を可決 総合支所設置条例の改正案は修正して可決

平成18年9月香取市議会第2回定例会は、9月6日から28日までの23日間にわたって開かれました。本定例会には、各自地区に区長を置かないこととする「香取市地域自治区に係る特別職設置条例を廃止する条例の制定」など議案16件、発議案3件、旧1市3町および香取市の平成17年度各会計決算にかかわる認定48件、諮問6件が提出され、「香取市総合支所設置条例等の一部を改正する条例」は修正して可決、他の案件はいずれも原案のとおり可決・承認・認定・同意しました。

### 可決した議案等の概要

#### 条例の新設

香取市地域振興基金条例  
地方自治法の規定により、合併後の市民の連帯強化および地域振興を図るため基金を設置するもの。基金の規模は30億円で、平成18年度から20年度まで毎年10億円ずつ積み立て、その運用益を目的経費に充てる。

#### 条例の改正

香取市総合支所設置条例等  
市長より提案された原案から、佐原区の総合支所廃止に關する第1条および第2条を削除し、建設経済部を建設部と経済部に分ける第3条「香取市行政組織条例」、下水道部門と下水道部門を一体化し上下水道部とする第4条「香取市水道事業の設置等に関する条例」の改正について可決。

#### 人事院および千葉県人事委員会の勧告に基づき、本市の給与制度を国・県に準じて改

正するもの。  
香取市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例  
商法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。  
香取市国民健康保険条例  
10月1日から国民健康保険法および健康保険法等の一部が改正されることに伴うもの。  
条例の廃止  
香取市地域自治区に係る特別職設置条例  
行財政改革の観点から、地域自治区に区長を設置しないことに伴うもの。  
補正予算  
一般会計  
歳入歳出に14億2885万2千円を追加し、補正後の総額を275億4885万2千円とするもの。主な内容は、自治区長を設置しないことに伴う給料等の減額4377万6千円、地域振興基金積立金10億円など。

千円を追加し、補正後の総額を41億722万9千円とするもの。  
居宅介護サービス事業特別会計  
歳入歳出に170万8千円を追加し、補正後の総額を1億2070万8千円とするもの。

松本滋氏、多田博氏、小林尚英氏、久保木和子氏、稲葉志名子氏、藤崎正男氏の選任に同意。  
意見書の提出  
東総有料道路の無料化に関する意見書  
東総有料道路は一般道と平面交差しているため、料金所を回避して無料通行しようとする大型ダンプカー等が一般道を多数通行している。その中には通学路もあり、児童・生徒が交通事故に遭う危険性が高まっている。また、道路の損傷も多く見られる。迂回車両をなくし交通事故の防止を図るとともに、地域の活性化を図るため、早期に無料化するよう要望する。  
提出先「千葉県道路公社理事長  
石綿被害対策に関する意見書  
意見書の要旨  
1. 石綿問題の悲惨さ深刻さを真摯に受け止め、すべてのアスベスト被害者に対し補償を行うとともに、救済制度の早期充実を図ること。  
2. 地方自治体が行う独自の被災者救済対策や予防対策に財政的支援を行うこと。  
3. 被災者の相談・診断・治療体制を充実させること。  
提出先「内閣総理大臣、厚生労働大臣、環境大臣  
採択した請願・陳情  
農地・水・環境保全向上対策に関する請願  
東総有料道路無料化に関する請願  
アスベスト問題に関する陳情

農業集落排水事業特別会計  
歳入歳出に127万1千円を追加し、補正後の総額を2億4222万1千円とするもの。  
火葬場事業特別会計  
歳入歳出に803万8千円を追加し、補正後の総額を5447万4千円とするもの。  
水道事業会計  
収益的収支の支出に2173万6千円を追加し、補正後の支出総額を21億4678万6千円、資本的収支の収入から4億790万円を減額し、補正後の収入総額を3億6758万1千円、支出から3億8435万5千円を減額し、補正後の支出総額を12億3024万7千円とするもの。  
簡易水道事業会計  
収益的収支の収入に49万6千円を追加し、補正後の収入総額を8728万1千円、支出に5万1千円を追加し、補正後の支出総額を1億2838万円、資本的収支の支出に156万9千円を追加し、補正後の支出総額を5365万4千円とするもの。

平成17年度佐原市、小見川町、山田町、栗源町、香取市等の決算案件48件を認定。  
人事  
人権擁護委員の選任

老人保健事業特別会計  
歳入歳出に1億6352万1千円を追加し、補正後の総額を79億2988万5千円とするもの。  
介護保険事業特別会計  
歳入歳出に2億977万7

歳入歳出に2億977万7

歳入歳出に2億977万7

# 市政に関する一般質問

9月定例会の一般質問は、9月20日から22日、25日の4日間行われ、21人の議員が質問を行いました。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

## 循環バスへの取り組みは

吉川昭治議員



循環バス（佐原区）

問 教育委員会の委員の任命については、香取市内に居住しなくとも議会の同意があれば市長は任命できるが、市内に適任者はいなかったのか。  
答 市内在住者に限らず、広く人材を得るという観点から選任したものである。  
問 市営循環バスを利根川左岸地域に走らせてほしいとの要望が多くあるが、市の取り組み方はどうか。  
答 当該地域を含め、市内全体を一つの交通圏域ととらえ、持続可能な交通体系を早期に考えるための公共交通検討委員会を立ち上げ、検討している。

問 地方自治体の経営体質が取りざたされているが、香取市全会計の借金はどのくらいあるのか。  
答 公営企業会計を含む全会計の起債残高は、平成17年度末で49.8億円となっている。  
問 特例債事業は、起債許可団体に限らない範囲で、借金返済計画との整合性をとって進めてもらいたい。  
答 具体的な数値で市の財政状況を把握しながら、きめ細かく対象事業を選択していき

## 起債対象事業は慎重に

眞本丈夫議員



民間委託している「なのはな苑デイサービスセンター」

問 641カ所の通学路の危険場所の状況と対策、および地震・台風による災害時に危険と思われる場所とその対策は。また、障害者・高齢者等の災害弱者に対する情報提供や対策は。  
答 危険箇所の周知徹底や安全マップの再点検、防犯教室の開催等による指導・支援を強化するほか、関係機関等との連携も図っていききたい。緊急通報装置の設置、ホームヘルパーによる安否確認、聴覚障害者等緊急通報ファックス設置事業等を実施している。  
問 香取市の公営施設はいくつあるか。公営施設を指定管理者制度を利用して民間委託等した場合のメリットとデメリットは。また、その計画はあるのか。  
答 180施設ある。民間事業者のノウハウ等を活用する

## 防犯、防災対策について

小川春雄議員

問 不審者対策で、教育委員会として統一した指導・指示を出すべきではないか。また、対策強化の観点から、主要門にカメラ付きインターホンを設置してもらいたい。  
答 不審者対策について明文化したものはないが、各学校とともに児童・生徒の安全確保のための取り組みを進めている。全校に配置する方向で年次計画を立てていききたい。  
問 主要地方道成田小見川鹿島港線は、成田空港と鹿島工場地帯を結ぶ大動脈となっているが、小見川大橋は慢性的な交通渋滞が発生している。それを解消するためには、早急に橋を拡幅して4車線化するか、または第2小見川大橋の新設が必要と考えるか。  
答 成田小見川鹿島港線で施工中の工事箇所の進展状況を勘案しながら、周辺自治体とともに4車線化を関係機関に強く要望していききたい。  
問 香取市の基幹産業である農業・商業・観光に対する活性化対策（農協との調整、空き店舗・大型店対策、観光行政）は。  
答 現在、市内には2つの農協があるが、当面、市としてはその動向を見守っていききたい。商業振興を市の重点施策と位置付け、迅速かつ積極的



小見川大橋

と考えるか。  
答 市内の浸水箇所はおおむね把握できており、関係者と協議しながら緊急性の高いものから順次整備を進めたい。  
問 新市建設計画の優先順位の決定方法は。また、特例債の適用と返済計画は。  
答 市民ニーズを把握しながら決定していききたい。新市建設計画の基本を尊重しながら、必要性や緊急性を協議し、各年度別の実施計画に反映させていききたい。

## 小見川大橋の架け替えについて

八木 蕃議員



市庁舎

ことにより、住民サービスの向上、経費の縮減等が期待できる。制度導入に関わるガイドラインを作成し、個別に検討しながら可能なものから順次導入していききたい。  
問 食育について、学校教育（給食）の立場から、また、香取市（健康福祉）の立場から、どのように考えているのか。  
答 豊かな人間性をはぐくむ上で、健全な食生活を推進する食育は重要である。市では、食生活を見直し、食への関心と知識を高め、市民の健康増進を図るための取り組みを行っている。



# 香取市の医療行政について

高橋 成議員

問 県立佐原病院の医師派遣の見直しについて、市長の知る範囲で伺いたい。

答 県立病院・小見川総合病院・市による協議会を設け、対策を協議している。県では、県外の大学付属病院へも医師の派遣を要請している

が、医師の偏在は全国的な問題であり、思うような医師の確保にはつながっていない。このため、今後はさまざまな優遇措置を設けるなどし、医師の確保に努める方針とこのことである。

問 国保小見川総合病院は、築34年が経過し傷みが激しい。周辺地区の医療充実の一環として、合併特例債を適用して建て替えを検討すべきと考えるが。

答 本市とともに病院組合を構成する東庄町とも協議しながら検討していきたい。

問 少子化対策の一環として、香取市の公立病院には産婦人

科の施設が是非とも必要である。実現に向けての見解を伺いたい。

答 大学へもたびたび医師の派遣を要請しているが、産婦人科医師の確保にはつながっていない。市単独の施策も考慮しながら、早期の医師確保に向け最大限の努力を続けたい。

## 基幹産業である農業行政の充実を

鈴木和彦議員

問 市長は、農業予算を10%以上計上し、魅力ある農業政策を展開することを政策の一つに掲げているが、農業行政の現状と見直しはどうか。

答 補正予算で農業関連に多くの予算を計上しており、現段階で6%から7%になっていると思う。今後、担い手の育成や農産物のブランド化等を図るとともに、地域の意見をとり入れた施策を推進していきたい。

問 山田自治区の府馬地先を流れる府馬川の河川改修計画の現状は。

答 遊仙橋の架け替えについては県と、排水樋管・農道の橋・農地の確保等については地元と協議しながら、計画的に進めたい。

問 府馬川に農業用水を配分するために設けられている水門は老朽化している。府馬川の改修計画の中で、水門の補修計画はどうか。

答 当該地域では現在、水田基盤整備事業が進められており、その中には用水施設整備が含まれているため、完成後は水門の必要性はなくなるものと考えられる。府馬川改修工事に伴い移設等が必要な場合は、地元と協議しながら機能維持の方策を検討したい。

## 市単独の農業補助を

高木 仁議員

問 香取市の財政状況を見れば、予算のばら撒きはできない。地域の農業粗生産額を

上げるための園芸の施設化や小規模圃場整備事業に対し、市単独の事業を実施してはど

うか。

答 市単独の新たな補助については、タウンミーティング等での意見・要望を参考にしながら検討していきたい。

問 市職員が電話を受けるときは、まず自分が名乗るべきではないか。これは経費のからまない住民サービスである。

答 職員が自らの職務に責任を持つことになり、その結果、住民サービスの向上につながると考えられることから、指導を行っていきたい。

問 小学校からの英語教育は、害のみで益がない。国語力をしっかり身に付けることが大事と考える。国語教育特区をつくって、漢字力と読解力を重点にしてはどうか。

答 国語と英語の教育は、どちらもコミュニケーション能力を高めるために重要であり、子供たちの伝え合う力の育成が課題となっている今、両教育のさらなる充実に努めたい。

特区については、現段階では明言できる状況にはなく、今後検討していきたい。

問 肺炎を重篤にしないためには、ワクチンの接種が有効である。試験的に肺炎球菌ワクチンの接種を実施してはどうか。

答 ワクチンの有効性や高齢者の発症状況を把握し、また、他の自治体の先進事例等を参考にしながら、前向きに検討していきたい。



タウンミーティング

## 市政は市民のために

河野節子議員

問 住民が期待する人件費の削減による行財政改革の効果を目指すため、平成17年度の旧佐原市の時間外手当が突出している(1億267万4765円)ことの原因究明はしたか。

答 旧佐原市では行財政改革で職員削減に努めた結果、過去5年間で80名程度職員数が減少したため、業務量との関係上、時間外勤務が増加した。また、旧3町では、時間外勤務手当が支給されない管理職

手当支給対象者が20%程度であったのに対し、旧佐原市では8%程度であった。このようなことが要因として挙げられる。

問 市民バスの運行形態が各自治区間で不統一。日曜日に利用できない佐原区の市民バスは、市民サービスの観点から改善を。

答 現在、各自治区間で統一を図るべくプロジェクトチームを立ち上げ検討中である。問 「広報かとり」の発行形

問 香取市総合計画の準備段階といえる香取市総合計画策定方針は、現在どのような構想趣旨、目的を持つのか。また、策定のプロセスは。

答 香取市の礎を築くためのものであり、それぞれの個性や資源を生かしながら市の一体化を図っていきたい。平成20年度から10年間の基本構想と5年間の基本計画を、平成18・19年度で作成する。

問 香取市は、面積で県下4番目、人口では19番目という現状と、団塊の世代の退職を踏まえて進められる定員管理計画の概要については。

答 各自治体の人口や産業構造等を基準とする類似団体別職員数を参考としながら、定員適正化計画を今年度中に策定したい。

問 香取市電算システムの稼働状況と、システムの移行はどのように行われたのか。業務に支障はなかったのか。また、現状での問題点は。

答 住民情報システムは1月から、内部情報システムは3月から一部稼働を始め、すべてのシステムが稼働したのは合併当日であるが、住民基本台帳システムに設定ミスがあり、システムが半日停止した。住民情報システムは2業者で構築されているが、取り扱える外字の文字数に制約があること、また、統合が困難なことが問題点として挙げられる。



市民バス

問 旧町部の住民に不評。月2回発行の内、1回分に自治

区版を入れ、知人の安否を知る「おくやみ」欄を復活させてはどうか。

答 自治区版の発行には、各区ごとに印刷を変える必要がある。新聞店のエリアが自治区単位ではないため、各家庭に当該区版を配付することが困難。市民の一体感の醸成に逆行する恐れがあるなど多くの課題があるため、当面、現行どおりとしたい。

## 香取市総合計画の策定について

保科敦史議員



市役所の窓口

### 子どもの安全・安心は守られているか

奈良律子 議員

問 安全であるべき通学路が、大きく伸びた草に覆われていたり、立ち木で暗くなっていたり、いつ犯罪が起きてもおも思議でない状況が見受けられる。安全な歩行・走行と防犯の面から定期的な草刈りや伐採が必要であると思われるが、どのように行われているのか。

答 通学路の安全を恒常的に確保するため、安全点検の見直しを行うよう各学校を指導するとともに、対処が困難なものについては、関係機関等と連携を図りながら適切に対処していききたい。

問 「防犯ステッカー」の管理・保管の周知は、どのようにしているのか。

答 配付する際、学区巡回の際には常に車に貼付する、貼付したまま車から離れない、悪用されないよう十分注意願いたい旨を口頭または文書で説明しているが、再度、取り扱いについて注意を喚起していきたい。

問 生徒たちに我慢を強いて



山田中学校

問 定率減税の縮減や高齢者に負担を強いる税制改正の影響額は、高齢者の過酷な負担を軽減する観点から課税にな

### 介護認定者に障害者控除の適用を

坂本洋子 議員

問 定率減税の縮減や高齢者に負担を強いる税制改正の影響額は、高齢者の過酷な負担を軽減する観点から課税にな

駐輪場を含めた改修規模と耐震の配分は。

答 平成18・19年度に管理棟および体育館の耐震補強工事、トイレ・放送システム・消火栓・駐輪場等の改修を実施する予定であり、細部については現在、精査中である。

### 与田浦十二町歩の現状と利用について

柳田俊秀 議員

問 与田浦運動広場の現状と利用者数は。

答 野球場と多目的広場があり、平成17年度は約3200人、本年度は8月末で約1万5000人が利用している。

問 十二町歩への水道の引き込み等、設備の充実が必要と考えるが、今後の対応は。

答 トイレや休憩所の増設、飲料水の改善には財政負担を伴うため、協議・検討していきたい。

問 県道潮来佐原線の歩道の設置状況は。

答 設置済み延長は約3200mで整備率は約71%、13カ所が未整備である。

問 市内循環バスの充実・拡大の方針は。市長のコミュニケーションバスに対する基本的な考えは。

答 早期に公共交通検討委員会



敬老会（栗源区）

問 被爆者見舞金の補正予算は評価するが、ガンの発症を心配する被爆者の願いに応えるため、被爆者援護条例の復活を。

答 国の援護法により一定の援護がなされている、国保税・介護保険料の減免には問題があるとの県からの指摘があった等の理由から、新市では見舞金・弔慰金の支給とした。

問 診療体制の縮小から6カ月が経過した県立佐原病院の現状回復の進展状況は。

答 県外の大学へも医師派遣を要請しているが、大変厳しい状況である。

問 下小野の農薬漏洩の原因と今後の対策は。

答 昭和46年頃、残留性が問題となった有機塩素系農薬を、国の指導でコンクリート密閉し地中に埋設したものである。

問 障害者自立支援法の施行で、所得の有無にかかわらず利用料の1割の応益負担が導入され、自立は一層困難になった。1割負担で軽減された財源で、独自の支援策を講じるべきでは。

答 障害者の実態等を十分に把握し、負担軽減策を検討していきたい。

### 郵政公社の統廃合について

佐藤好文 議員

問 栗源局の集配などの業務は9月11日に停止されたが、山田局も対象になると聞く。市に情報が入っているのか。市として撤回の要請は。

答 9月4日に郵政公社関東支社と佐原郵便局長が来庁し、

問 栗源局の集配などの業務は9月11日に停止されたが、山田局も対象になると聞く。市に情報が入っているのか。市として撤回の要請は。

問 栗源局の集配などの業務は9月11日に停止されたが、山田局も対象になると聞く。市に情報が入っているのか。市として撤回の要請は。

問 被爆者見舞金の補正予算は評価するが、ガンの発症を心配する被爆者の願いに応えるため、被爆者援護条例の復活を。

答 国の援護法により一定の援護がなされている、国保税・介護保険料の減免には問題があるとの県からの指摘があった等の理由から、新市では見舞金・弔慰金の支給とした。

問 診療体制の縮小から6カ月が経過した県立佐原病院の現状回復の進展状況は。

答 県外の大学へも医師派遣を要請しているが、大変厳しい状況である。

問 下小野の農薬漏洩の原因と今後の対策は。

答 昭和46年頃、残留性が問題となった有機塩素系農薬を、国の指導でコンクリート密閉し地中に埋設したものである。

問 障害者自立支援法の施行で、所得の有無にかかわらず利用料の1割の応益負担が導入され、自立は一層困難になった。1割負担で軽減された財源で、独自の支援策を講じるべきでは。

答 障害者の実態等を十分に把握し、負担軽減策を検討していきたい。



栗源郵便局

説明会でも住民の反対・撤回の声が大勢を占めた。香取市としての対応は。

答 環境保全上の留意点を伝え、法令等に従って事業計画を進めるよう指導した。今後、担当課からの指導事項や住民説明会の結果報告を求め、環境保全条例上の問題点や関係法例等を総合的に判断し、地域住民の意向を十分に尊重しながら対応していきたい。

問 2万円米価を市としてどう思うか。国・関係機関に要請はできないか。

答 米価は、食糧法改正により需給実勢により決定される制度となっている。

問 栗源区の生活道路と排水整備の要望は多い。赤道といえども危険箇所は急ぐ必要があるが改善は。

答 現場の状況等を十分調査し検討していきたい。

問 高萩小までの通学路への横断歩道の設置を3月に町に要望したが、進捗状況は。

答 現段階では設置予定はないが、県に対し歩道整備とともに要望していきたい。

### 少子化対策について

濱田範雄 議員

問 合計特殊出生率の算出方法は。

答 一人の女性が生涯に何人の子供を産むかを示す数値で、妊娠可能な15歳から49歳までの全女性を対象とし、年齢ごとに子供の出生数を女性人口で割った出生率を足し上げて算出する。

問 香取市各自治区の合計特殊出生率と人口千人当たりの出生数は。

答 佐原が1.28、小見川が1.09、山田が1.18、栗源が1.46、千人当たり出生数は、それぞれ331人、147人、67人、28人である。

問 現在実施している具体的な少子化対策事業は。

答 妊婦検診や乳幼児の健康診断等の母子保険事業、保護者のニーズに合わせた保育所や放課後児童クラブの運営、母子家庭等に対する支援事業、地域子育てセンターや家庭児童相談所の設置等を行っている。

問 少子化に歯止めをかけ、増加させる対策はないか。

答 社会全体が連携し、国が示した「子供・子育てプラン」を推進していくことが、少子化対策になると考える。



小見川総合病院

# 地域医療の充実が急務

## 宇井正一 議員

問 地域医療の充実のため、小見川総合病院の産婦人科の復活と常勤医師の確保に関する方針は。

答 大学付属病院にも派遣できる産婦人科医がいけないという厳しい状況であるが、今後も常勤医師の確保に向け努力を続けたい。

問 地域自治区は地域協議会が動き出して初めて本物となる。委員の選出を急ぐべき。

答 多様な意見が幅広く反映される協議会となるよう選任準備を進めている。

問 地域住民の生活向上に役立つ事業に対し、合併特例債の積極的活用を図るべきであるが見通しは。

答 検討チームを立ち上げ具体的な活用方を確立し、早期事業化を図っていききたい。

問 山田中学校の大規模改修の実現が待たれているが、耐震化工事計画の具体化と見通しは。

答 平成18・19年度の2力年で、管理棟・屋内運動場の耐震化工事を行う。

問 幼児医療費の窓口手数料200円の無料化を引き続き行うべき。

答 国の動向を踏まえながら、他の少子化対策も含め総合的に検討していきたい。

問 合併によって自動販売機の設置料が7倍になったのは、合併の「負担は軽く」の方針に合わないのでは。

答 合併時に条例を整備し統一したものであり、使用者には事前に説明し理解を得たと承知している。

問 小川地区の残土処分場計画には、環境を守る観点から反対。残土条例の改定で厳しく対応すべき。

答 県条例の適用を受けていない他市町の内部組織・監視体制・事業者への指導方法等を参考にしながら検討していきたい。

# 議員の任期と定数について

## 根本太左衛門 議員

問 平成22年の改選で市長と議員選挙を同時に行えば、約1億7千万円の削減になるが方法は。

答 市長の任期に合わせ議会を解散する以外にない。

問 議員定数30名を、22年改選時に25名に削減する方法は。

答 議員定数条例を改正する必要はある。提案権は、議員および市長にあるとされている。

問 議員の任期・定数は議員が決めることができるのであれば、現時点で改選後の議員の任期は22年4月までとし、次期市長選に合わせ解散する。また、22年からの議員定数は5名削減して25名とすることを「申し合わせ」することは公選法に違反するか。

答 申し合わせであれば、公職選挙法には抵触しないと考える。



開票事務

問 議員選の開票は、翌日開票にできないか。

答 早急な当落結果を選挙人が望んでいると考えられる、投票箱を翌日まで長時間厳重に保管しなければならぬ、開票事務には100人以上が必要であり、翌日開票とした場合には通常業務に支障を来す恐れがあるなどの理由により、即日開票としたい。

## 9月定例会 上程議案と議決結果

議案番号	議案名	結果	議案番号	議案名	結果
議案第1号	平成18年度香取市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市佐原イ2番地8 松本 滋氏)	原案同意
議案第2号	平成18年度香取市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市下小野756番地 多田 博氏)	原案同意
議案第3号	平成18年度香取市老人保健事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市佐原イ1057番地 小林尚英氏)	原案同意
議案第4号	平成18年度香取市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	諮問第4号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市佐原イ502番地1 久保木和子氏)	原案同意
議案第5号	平成18年度香取市居宅介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	諮問第5号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市みずほ台一丁目1番地123 稲葉志名子氏)	原案同意
議案第6号	平成18年度香取市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	諮問第6号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市山倉2841番地 藤崎正男氏)	原案同意
議案第7号	平成18年度香取市火葬場事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	請願第2号	「核兵器廃絶の国際協定締結を求める意見書」採択についての請願	継続審査
議案第8号	平成18年度香取市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	請願第6号	場外馬券売場設置に反対する請願	継続審査
議案第9号	平成18年度香取市簡易水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	請願第7号	香取市油田地先の場外馬券売場設置に反対する請願	継続審査
議案第10号	香取市総合支所設置条例等の一部を改正する条例の制定について	修正可決	請願第8号	香取市営有料循環バスに関する請願	不採択
議案第11号	香取市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	請願第9号	佐原駅から水郷大橋、小見川大橋経由の有料循環バス路線新設に関する請願	不採択
議案第12号	香取市地域自治区に係る特別職設置条例を廃止する条例の制定について	原案可決	請願第10号	佐原駅から水郷大橋、小見川大橋経由の有料循環バス路線新設に関する請願	不採択
議案第13号	香取市地域振興基金条例の制定について	原案可決	請願第11号	「農地・水・環境保全向上対策」に関する請願	採択
議案第14号	香取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	請願第12号	佐原駅から水郷大橋、小見川大橋経由の有料循環バス路線新設に関する請願	不採択
議案第15号	香取市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	請願第13号	佐原駅から水郷大橋、小見川大橋経由の有料循環バス路線新設に関する請願	不採択
議案第16号	平成18年度香取市下水道事業特別会計補正予算(第1号)についての専決処分の承認を求めることについて	原案承認	請願第14号	佐原駅から水郷大橋、小見川大橋経由の有料循環バス路線新設に関する請願	不採択
発議案第1号	香取市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	請願第15号	十二橋駅前の通称「与田浦12町歩広場」を通常の「体育・スポーツ・レクリエーション等振興の場所・広場」に相応しく整備されたい請願	継続審査
発議案第2号	石綿被害対策に関する意見書の提出について	原案可決	請願第16号	三ノ分目新田、相馬堤防1m切下げの請願	不採択
発議案第3号	東総有料道路の無料化に関する意見書の提出について	原案可決	請願第17号	農地・水・環境保全向上対策に関する請願	採択
認定第1号～第48号	平成17年度佐原市・小見川町・山田町・栗源町・香取市等各会計決算	原案認定	請願第18号	香取市油田地先における場外馬券売場設置計画の推進に関する請願	継続審査
			請願第19号	稲作農家に労働者並みの労賃と再生産を確保するため「2万円米価」を保障するよう、国に意見書提出を求める請願	不採択
			請願第20号	佐原駅から水郷大橋、小見川大橋経由の有料循環バス路線新設に関する請願	不採択
			請願第21号	東総有料道路無料化に関する請願	採択
			陳情第4号	東朋グリーン株式会社による公営競技場外施設(馬券売場)設置に反対の陳情	継続審査
			陳情第7号	開発計画(場外馬券売場)についての陳情	継続審査
			陳情第8号	アスベスト問題に関する陳情	採択